

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年 3月 1日

事業所名 スタジオそら鶴見

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	8	0	・密を作らないようにしています。 ・小部屋を有効に使い、大部屋との入れ替えを特性や種目に応じて工夫しています。 ・活動前に時間と場所の割り振りをしています。	・今後も安全に療育の提供ができるよう、引き続き努めていきます。
	② 職員の配置数は適切であるか	8	0	・シフト作成の際に配置数の確認をしています。	・人員配置としては適当な人数のため、引き続き支援の充実化を図ります。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	0	・動線を考えた空間になっています。テープやカード等の視覚補助もあります。一部椅子の配置等を変更したため、今後も安全や活動のしやすさの様子を見ていきます。 ・イラストや色分け等で分かりやすい環境に設置されています。	・建物外の階段に外灯がまだなく建物オーナーと調整中です。 ・洗面所入口に段差があり注意が必要です。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	8	0	・昼休みと終業前に掃除をしています。	・今後も清潔な空間を維持していきます。
適切な支援の内容	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している	8	0	・ケース会議は複数人で行うことが出来ています。 ・毎日、終業時に申し送りを行い、利用児や業務について共有を行っています。	・今後も継続して実施していきます。
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	8	0	・頂いた意見の改善を行っています。	・事業所評価の際でなくても意見が言いやすいように日頃から保護者様とコミュニケーションを取り信頼関係が築けるように努めます。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	・ホームページにて公開しています。	・今後も継続して実施していきます。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	8	・実施しておりません。	・必要に応じて検討いたします。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	・全社ミーティングを年1回実施しています。 ・研修だけではなく、支援の手引き書や支援の参考となる動画視聴を行っています。	・シフトでの勤務のため、全員が一斉に参加することが難しく、各職員ごとの参加になってしまっていることが課題です。
業務改善	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	・半年に一度、独自のアセスメントツールを用いて、お子様の課題を理解し、支援計画を作成しています。	・支援計画作成時以外でも保護者と面談を行いニーズの汲み取りの機会を設けていきます。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を回るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	・標準化されたアセスメントツールをもとに、アセスメントツールを作成しています。	・今後も継続して実施していきます。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0	・就学支援シートの記入を要望に応じて実施しています。 ・定期的、または要望に応じて適宜保護者との面談を実施しています。	・今後も適切に設定できるよう努めて参ります。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	・スモールステップで実施しています。	・今後も継続して実施していきます。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	2	・前回の担当者から様子を聞く等してプログラムを立案しています。	・今後も継続して実施していきます。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	・記録の確認、共有を行い工夫することが出来ています。 ・目的に応じて様々な内容を実施しています。また、同じものが続かないように配慮しています。 ・担当者も毎回変え、プログラム内容が固定化しないようにしています。	・今後も継続して実施していきます。

関係機関や保護者との連携	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	0	・保護者の要望に応じて実施、作成しています。 ・イベントの実施もしています。	・必要に応じて相談していきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	3	・朝礼の場で業務や役割の確認を実施しています。支援の内容は朝礼時や個別で職員で話す機会があります。	・今後も継続して実施していきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	・朝礼時や終礼時に打ち合わせを行っています。 ・担当した療育士がその日の様子を共有し振り返りを行っています。	・今後も継続して実施していきます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	・子どもの様子だけでなく、保護者の方の様子も記録し共有しています。	・今後も継続して実施していきます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0	・半年に1度の支援計画の切り替わり時期以外にも、必要時には適宜モニタリングを実施しています。	・今後も継続して実施していきます。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	1	・主に児童発達支援管理責任者が参画しています。	・参画した会議の内容を現場職員にも報告し、共有していくことを継続します。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	0	・配慮が必要なご家庭は、役所と連携を取って対応しています。	・今後も継続して支援を行っていきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	8	・現在対象となる利用者はいません。	・現在対象となる利用者はいません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	8	・現在対象となる利用者はいません。	・現在対象となる利用者はいません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1	・必要に応じて情報共有しています。	・保護者の方からも情報を共有して頂きながら、引き続き相互理解を図っていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1	・必要に応じて学相談シートを作成してお渡ししたり、情報共有しています。	・今後も継続して支援を行っていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	5	・年に2回の事業所連絡会に参加し意見交換を行っています。	・今後も継続して参加していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	7	・そらコンサートで交流の場を設けていましたが今年は感染症対策で実施できませんでした。	・感染症等の状況を踏まえながら検討していきます。
29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	7	・参加していません。	・区の連絡会にて自立支援協議会の内容が共有されるので、職員への周知していくようにします。	
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	・毎時間FBを設けています。そら以外の場所の様子もお聞きしています。 ・活動後、5分間の振り返りの時間を必ず設けています。	・今後も継続して配慮していきます。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	7	・プログラムとしてのペアレントトレーニングは未実施だが、随時保護者からのご相談には応えられるよう努めています。	・今度も丁寧な保護者とのコミュニケーションを心掛けていきます。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	・丁寧な対応を心がけています。	・今後も継続して対応していきます。	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	0	・面談の機会を設け同意を得ています。	・今後も継続して支援を行っていきます。	

保護者への説明責任等	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1	・面談の機会などを作り相談を伺っています。	・フィードバック時以外でもお話頂けるよう配慮していきます。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	8	・実施していません。	・必要に応じて検討いたします。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	・迅速に対応できるよう職員同士の報告連絡相談を普段から意識して業務にあたっています。	・お申ししやすいような雰囲気のスタジオ作りを心掛けていきます。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	・会報やHPで発信するだけでなく、新しい情報は掲示にて伝えるようにしています。	・今後も継続して対応していきます。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0	・鍵付きのキャビネットを使用し管理をしています。 ・保護者との面談は面談室を使用する等の配慮しています。	・今後も継続して対応していきます。
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	・絵カードなどを使用し、分かりやすい提示の方法を考えています。	・今後も継続して支援を行っていきます。
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を回っている	2	6	・そらコンサートが感染症対策の為実施できず、今年は機会を設けることが難しかったです。	・感染症等の状況を踏まえながら検討していきます。
非常時の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	0	・保護者閲覧用マニュアルを置きいつでもご覧いただけるようにしてあります。 ・職員は研修を実施しています。	・今後も定期的に研修を実施していきます。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	・お子様も交えての訓練を年に2回実施しています。	・今後も定期的に研修を実施していきます。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8	0	・初回の利用の際やフェイスシートで聞き取りを実施しています。 ・発作時の対応はフローチャートにて職員間で確認しています。	・対象児童について情報共有だけでなく、てんかん等に対する基礎知識の研修が出来るよう、検討していきます。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1	・保護者からの対応等の聞き取りをし、職員間で共有しています。 ・フェイスシートの記載にて確認しています。	・今後も継続して行っています。
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	・定期的かつ継続的に行っています。 ・毎日、終業時もヒヤリハットの共有	・今後も継続して行っています。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	・定期的に研修を行っています。	・今後も継続して行っています。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	0	・契約時、保護者に身体拘束に関して説明しています。現在は対象となる利用者はいません。	・今後も職員に対し研修を実施しています。

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。